



飯塚市職員採用案内
RECRUIT



Design a
Future

共に創り未来につなぐ

飯塚市概要

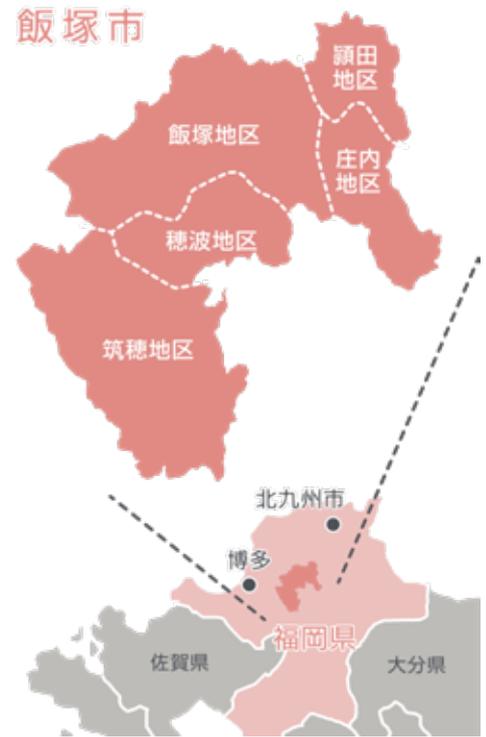
CHARM POINT

飯塚市は、福岡県のほぼ中央に位置し、古代から遠賀川に育まれた穀倉地帯であり、また、江戸時代には長崎街道の宿場町として栄えるとともに、水陸交通の要衝として多くの人々が行き交いました。明治時代以降は日本の近代化を支えた筑豊炭田の中心都市として発展し、今日の飯塚の礎が築かれています。

現在は3つの大学が立地し、高度な研究開発や将来を担う人材の育成が行われるとともに、産学連携コーディネート機能を有する機関や高度情報処理技術者を養成する施設など、産業振興の拠点が集積しています。また、医療機関が充実しており、人口1万人あたりの病床数は福岡県の平均を上回るなど、筑豊地域の医療の拠点を担っています。

交通の利便性については、県内を東西南北に結ぶ国道及びJRが通ること、交通の要衝を形成するとともに、九州の2大都市圏である福岡都市圏・北九州都市圏とのアクセスに恵まれています。

総人口	126,481人 (令和4年1月末現在)
面積	213.96 km ²
世帯数	62,946世帯 (令和4年1月末現在)



組織図

ORGANIZATION

いろいろなチカラが集まって、飯塚市の未来につなげます。



令和6年4月時点

職種紹介

PROFESSION

様々な分野でまちづくりに携わっています。

行政事務

総務・財務などの内部事務、窓口業務、事業企画、広報業務など、あらゆる分野で幅広い業務に従事します。

主な配属先▶市長部局、教育委員会、企業局、その他の行政委員会事務局など



土木

土木事業に係る設計、工事監督、施工管理などの土木行政事務に従事します。

主な配属先▶都市建設部、企業局



化学

水質管理、水質検査や研究、給水にかかる検査などの業務に従事します。

主な配属先▶企業局



建築

建築事業にかかる設計、工事監督、施工管理などの建築行政の業務に従事します。

主な配属先▶都市建設部



電気・機械

公共建築物の電気設備・機械設備に関する設計、工事監督、管理などの業務に従事します。

主な配属先▶都市建設部、企業局



保育士

保育所またはこども園において、保育または子育て支援業務に従事します。

主な配属先▶市立保育所および市立こども園



保健師

保健指導や健康増進意識・保健衛生意識の啓発普及、母子保健業務や感染症に関する業務に従事します。

主な配属先▶福祉部、こども未来部



管理栄養士

栄養指導や保健事業・健康増進事業に従事します。

主な配属先▶福祉部、こども未来部



運動指導員

運動指導、健康増進意識・保健衛生意識の啓発普及、健康づくりに関する業務に従事します。

主な配属先▶市民協働部



学芸員

文化財の公開、教育普及事業、資料の調査・研究・収集・保存・管理などの業務に従事します。

主な配属先▶歴史資料館



行政事務

INTERVIEW 01



業務内容

現在は、教育総務課で小中学校の予算管理や備品の購入手続きなどを行っています。主に学校の事務の先生や業者さんとやりとりすることが多いです。実際に学校に行き、現場を確認して先生方と相談しながら業務を行うこともあります。そのほか、毎月開催される教育委員会会議の資料作成や会議当日の運営をしたり、教育委員会で制定する規則などに問題がないか確認したりしています。

職場の雰囲気

社会人経験者として入庁したため、最初は年齢的な面での不安もありましたが、上司や先輩方がサポートしてくれて、相談もしやすく、とても働きやすい環境です。

男女年齢は様々ですが、みんな優しく、和気あいあいとした温かい雰囲気です。子どもの行事や急な病気の時などでも、周りのサポートがあるので安心して休みを取れます。

入庁のきっかけ

民間企業で勤めている時に、転職を数回経験したのですが、転入先の市役所で子どもの保育所入所の手続きをしたときに、親身に相談に乗ってくれた職員の方のことが、とても印象に残っていました。また、子どもとの時間を大切にしながら、長く働きたいと考えたときに、生まれ育った飯塚市が好きなので、ここで仕事がしたいと思い、市職員を志望しました。

赤間 早季子 2019年入庁

@教育部 / 教育総務課

■休日の過ごし方：休日には家族でキャンプに行きます。自然の中で料理をして焚火を囲んだり、子どもたちと天体望遠鏡で星を眺めたりと、日常生活では味わえない体験ができ、私にとってリフレッシュできる癒しの時間です。

行政事務

INTERVIEW 02



業務内容

私の部署では、障がいのある方が、地域で自立した生活を送ることができるよう支援するためのサービス、いわゆる「障がい福祉サービス」を利用するためのお手伝いをしています。障がい福祉サービスには、自宅で支援を受けるヘルパーや、障がい者施設に通所して支援を受けるサービスなど多岐にわたり、障がいのある方一人ひとりの状態に応じて利用方法を考えていく必要があります。障がいのある方だけでなく、その支援をする相談員の方や、施設の方からの相談も多々あり、日々、制度について理解を深める努力をしています。サービスの利用は、申請された方の生活の質と直結しており、その利用可否の判断には大きな責任が伴います。ただ、それだけに申請された方にとって一番良いサービス利用方法にたどり着けたときは達成感があります。

職場の雰囲気

上司、先輩職員の方とのコミュニケーションや意思疎通がしやすいと感じています。また、有給も取得しやすく、残業を強いられることもないのでとても働きやすい職場です。

入庁のきっかけ

私は、飯塚市で生まれ育ったため、生まれ育った飯塚市に貢献したいと思い、飯塚市職員になろうと思いました。

高田 侑弥 2020年入庁

@福祉部 / 社会・障がい者福祉課

■趣味：子どもの頃から車が好きで、最近、ようやく自動車免許を取得しました。これからどんどんドライブできるのが楽しみです。

■休日の過ごし方：友達と遊んで過ごすことが好きです。

土木



松隈 健太 2017年入庁

@都市建設部／土木建設課

- 趣味：サッカー、ゴルフ、バイクツーリング、読書などです。
- 休日の過ごし方：市役所のサッカー部の同僚と練習や試合に参加したり、最近では始めたばかりのゴルフなど屋外で体を動かしたりしてリフレッシュしています。

INTERVIEW 03

業務内容

現在は、過去の大雨により被害を受けた地区の浸水被害の軽減を目的とした調整池の新設事業や大雨時に自動運転する排水ポンプ設置事業を担当しています。設計事務所が設計した図面や数量を精査して発注を行い、工事着手後は発注者として品質の確認や受注者と協議打合せを行い、完成後は検査まで総合的に携わっています。飯塚市が一日も早く大雨に強い街となるように一丸となり、まい進しています。他には、歩道が設置されていない危険な道路を通行する児童や生徒が、安全に登下校ができるように、道路脇の用地を買収し歩道を拡幅する事業に携わっています。

仕事のやりがい

土木職は70名ほど在籍しています。業務や親睦会を通してコミュニケーションを取り、すぐに馴染むことができました。また、チーム意識が強く、気さくで頼れる職員が多いので、課題に直面したときも、上司や同僚など縦横の連携という強みを生かして業務を進捗させられることが魅力の1つです。このような時は、1人で解決した時の何倍も仕事のやりがいを感じ、この職場で良かったと実感します。

入庁のきっかけ

飯塚市役所の土木建設課で臨時職員として働いている時に、所属課の課長から土木職の採用試験を勧められたことがきっかけでした。正職員の方は優しく、職場は明るく活気があり、ここで一緒に仕事がしたいと思えたことが決め手でした。

保育士



堀 かおり 2015年入庁

@こども未来部／保育課(菰田保育所)

- 趣味：読書、音楽鑑賞
- 特技：ピアノ演奏、絶対音感、絵の写し描き

INTERVIEW 04

業務内容

現在は、1歳のクラス担任をしています。毎日安全・安心な日々を過ごせるように、子ども達との信頼関係を築きながら、生活習慣を身につけられるよう促すとともに、心身の育ちをサポートしています。また、保護者とのコミュニケーションを大事にしなが、ご家族と一緒に子ども達の成長を見守っています。

仕事のやりがい

子どもの成長を感じる時です。昨日出来なかったことが今日出来るようになった時の子どもの達成感に満たされた顔をみると、私も嬉しくなります。また、そのエピソードを保護者の方にお伝えして、一緒に喜びを分かち合える瞬間や、感謝の言葉をいただいた時に、やりがいを実感します。そして何より、日々、子ども達の可愛い笑顔に癒されています。

入庁のきっかけ

飯塚市の「人権を大切に作る心育てる」保育を推進するという方針、乳幼児期における人格形成の基礎作りに理解が深められる支援を進めるという考え方に共感しました。また、子育て支援にも力を入れており、子育て支援センターなどの公共サービスの場が充実しているところにも興味をもちました。これらをきっかけに、子どもが大好きだったこと、また、私自身が飯塚市で生まれたこともあり、飯塚市で保育士として働きたいと考えました。

保健師

🎧 INTERVIEW 05



森本 明日香 2018年入庁

@福祉部/健幸保健課

■趣味：子どもが寝たあとに海外ドラマを見ています。
「クリミナル・マインド」が好きでシーズンを一気に見することもあります。

業務内容

主に市の国民健康保険に加入されている方の特定健診・特定保健指導を担当しています。市民の方が、住み慣れた場所でいつまでも健康に過ごしていけるように、生活習慣病予防を目的とした改善策と一緒に考えていく仕事です。

保健師は個人の健康管理以外にも、地域としての健康課題解決にも取り組んでいます。地域全体の健康課題を明確化し、課題解決のために他市町村や病院、医師会などと連携することもあります。また、感染症流行時や災害発生時には、医療職として組織内外の調整を行い、市民の方の健康保全に努めます。災害時に避難所で行う健康観察なども保健師の仕事です。

仕事のやりがい

保健指導では個人や家族、組織の持つ多様な価値観を理解し、それぞれの対象と多様なコミュニケーションをとる必要があります。難しさを感じることもあります。

しかし、保健指導をした方が生活習慣を改善し、「(健診データが)こんなに良くなったよ!」とご報告いただいたときに、やりがいを感じます。また、避難所で健康観察をした方から「あなたのおかげで安心できました。」と言われたときにも、保健師としてのやりがいを感しました。

入庁のきっかけ

病院で治療中の患者さんの「もっと早く生活習慣に気を付けていればよかった」という声を多く聞いていました。そのため、病気に至る前段階へのアプローチができる行政保健師を目指していました。

飯塚市は健診受診率と保健指導率が高く、より多くの市民の方と関わる機会を設けられると思ったため、飯塚市への入庁を決めました。

建築

🎧 INTERVIEW 06



牛嶋 健介 2018年入庁

@都市建設部/建築課

■趣味：スポーツ観戦(バスケットボール)・体を動かすこと。サーフィンに挑戦したいと思っています。 ■特技：体を動かすこと・サウナに行くこと。
■休日の過ごし方：家族と一緒にドライブしたり・出かけたりしています。

業務内容

飯塚市が保有している施設の設計・工事監理・設計打合せを担当しています。設計に関しては、利用者の動線や予算など様々な要素を考慮し、図面や設計書を作成しています。施工段階においては設計通り適正な施工が行われるよう監理しています。現場では、工事が計画どおりに進んでいるか、周囲の安全は確保されているかといった点を調整・確認・指導を行います。

仕事のやりがい

多種多様な業務を通じて幅広い知識や経験を活かしながら、建築技術者として成長し、建築分野から市の発展に貢献できること、また、市の計画に携われることが魅力です。市民の方々に感謝の言葉をいただいたり、工事完了後に施設が多くの方に利用されたりしているのを見ると、非常に大きなやりがいを感じます。

入庁のきっかけ

民間企業に勤務していた際、東日本大震災の被災地の復興に携わりました。想像以上に被災した「まち」の姿に驚きを隠すことができませんでした。生活・都市基盤が何もない状況下で業務を行い、市民の方から感謝の言葉をいただいたことは、人生における貴重な経験です。その業務を終えた後、以前、暮らしていた飯塚市に戻り、行政職員という立場で「建築」を通して、市民の方に貢献したいという気持ちが高まりました。そこで、私の経験を生かせる建築職になることを決断しました。

管理栄養士



山口 萌 2020年入庁

@市民環境部 / 医療保険課

■休日の過ごし方:よく友人とでかけます。特に大学時代の友人とは、情報交換をしながら、とても有意義な時間を過ごしています。家で過ごす時はYouTubeやDVD鑑賞をしたり、お菓子を作ったりなどその日の気分で自由に過ごしています。

業務内容

市の国民健康保険に加入されている方の特定健診・特定保健指導を担当しています。生活習慣病予防のために、その方の食事や運動を含めた生活背景から、改善に向けた目標を一緒に考えていく仕事です。医療機関から保健指導依頼があれば医師の指示に基づいて栄養指導を行うこともあります。また、管理栄養士は、各世代に向けた食育業務を推進しており、離乳食教室、子どもの食育講座や乳幼児健診時の栄養相談、フレイルや生活習慣病予防などを行っています。

仕事のやりがい

生活習慣病は自覚症状がほぼないため、病識が薄い方が多く、また、生活習慣を変えることは難しいことですが、保健指導後、危機感を持って少しずつ生活習慣を改善していらっしやったり、医療機関を受診して早期治療ができたりと市民の方の健康への意識が変わったときや、「あなたのおかげで頑張れた」などの声を直接いただけるときに、やりがいを感じます。

入庁のきっかけ

生活習慣病予防に興味があり行政栄養士を目指していました。飯塚市は特定健診の受診率・保健指導実施率が同じ人口規模の自治体と比べると高く、力を入れていると感じ、ここで私も力になりたいと思ったことがきっかけです。飯塚市で働きたいという強い意志と、どのように自分を活かしていきたいかという明確なビジョンがあれば出身や新卒などは全く関係ないと思いました。

地域のために積極的に挑戦できる人材を!

MESSAGE

市職員は、市民の方をはじめとし、多様な方々と接する機会が多くあります。相手の方の声を聴き、寄り添い、信頼関係を築くためには、積極的なコミュニケーションが大切です。また、変化の激しい社会において、柔軟に対応できる行動力と発想力を持ってあらゆる課題に気付く、探求し、解決する能力が求められています。このように、市職員として求められることは数多くありますが、誰かの役に立つ大変やりがいのある仕事です。飯塚市をより良くしたいという、熱く強い思いのある方の入庁を期待しています。進化を続ける元気なまち、飯塚市の未来を共に創りましょう!

新採等職員サポート制度

SUPPORT

安心して仕事に取り組むためのサポート制度があります。

飯塚市では、新規採用職員がスムーズに職場に適應できるよう、「職場指導員」と呼ばれる先輩職員が1年間サポートします。職場指導員は職務に必要な知識やノウハウ、飯塚市職員として必要な心構えについて指導するとともに、日常的な相談にも気軽に応じ、新規採用職員を導いています。

勤務条件

WORKING CONDITIONS

初任給 (令和6年4月1日現在)

	大学卒	短大卒(2年制)	高校卒
支給額	196,200円	181,800円	170,900円

なお、上位の学歴、職務経験等を有する場合は、給与が増額調整されます。
(例)4年制大学卒、社会人経験5年経過後に採用の場合、225,400円

諸手当 扶養手当、通勤手当、住居手当、期末手当、勤勉手当、時間外勤務手当等がそれぞれの支給要件に応じて支給されます。

勤務時間 原則として、月曜日から金曜日/午前8時30分～午後5時15分 ※職種・勤務場所などによって異なる場合があります。

休暇等 年次有給休暇は年20日(勤務初年は15日)。未使用日数は20日を限度として、翌年に繰り越すことができます。
その他、特別休暇(結婚休暇、産前休暇、産後休暇、介護休暇、育児時間休暇、夏季休暇等)の制度があります。

試験情報

EXAMINATIONS

申込から採用まで



※試験の実施方法は変更となる場合があるため、別途、飯塚市公式ホームページで公開する試験案内を必ず確認してください。

試験の実施状況(実績)

試験区分	令和5年度			令和4年度 ※追加試験分を含む			令和3年度 ※追加試験分を含む		
	申込者数(名)	最終合格者数(名)	倍率(倍)	申込者数(名)	最終合格者数(名)	倍率(倍)	申込者数(名)	最終合格者数(名)	倍率(倍)
行政事務(上級)	188	20	9.4	183	18	10.1	182	13	14.0
行政事務(初級)	125	6	20.8	108	5	21.6	71	2	35.5
行政事務(障がい者対象)	4	2	2.0	10	2	5.0	7	1	7.0
行政事務(社会人経験者)	48	6	8.0	61	5	12.2	82	8	10.2
土木	16	3	5.3	4	0	-	15	4	3.7
土木(民間企業等職務経験者)	-	-	-	-	-	-	2	2	1.0
建築	3	1	3.0	6	0	-	-	-	-
化学	-	-	-	-	-	-	-	-	-
電気	-	-	-	4	1	4.0	-	-	-
保育士	11	6	1.8	27	8	3.3	23	3	7.6
保健師	10	3	3.3	12	3	4.0	-	-	-
管理栄養士	-	-	-	13	1	13.0	-	-	-
学芸員	4	0	-	-	-	-	-	-	-

試験の実施スケジュール(実績)

項目	令和5年度	令和4年度 ※追加試験日程を除く	令和3年度 ※追加試験日程を除く
試験案内配付期間 申込受付期間	①5月10日～6月9日 ②7月19日～8月17日	7月20日～8月18日	7月21日～8月19日
第1次試験	①7月9日 ②9月17日	10月16日 ※台風により9月18日から延期	9月19日
第2次試験	①8月20日 ②10月28日～29日	11月19日・20日	10月30日・31日
第3次試験	①9月24日 ②11月25日～26日	12月17日・18日	11月27日・28日
最終合格発表	①10月11日 ②12月8日	12月27日	12月10日

①土木・建築・保健師・学芸員
②行政事務・保育士

飯塚市職員採用案内情報

<https://www.city.iizuka.lg.jp>

@lizuka_official

iizuka_city_official

飯塚市のイベント情報などを発信しています。

【総務部人事課】
〒820-8501 福岡県飯塚市新立岩5番5号
電話：0948-22-5500
E-Mail：jinji@city.iizuka.lg.jp

